

公開講演会 最新化学談話シリーズ

平成 30 年度第 3 回談話会

ナノ粒子のプラズモン共鳴による電荷分離とその応用

立間 徹 教授

(東京大学 生産技術研究所)

主催 九州大学理学部化学教室談話会

日時：平成 30 年 6 月 21 日 (木) 午後 3 時より

場所：九州大学理学部化学科 W1-B-315 講義室

(伊都キャンパス ウエスト 1 号館 3 階 315 号室)

内容： ナノサイズの金属や導電性化合物を用いて光を制御、あるいは利用するプラズモニクスが注目されている。そうした研究の中で、ナノ粒子と半導体との界面において、光エネルギーによって正負の電荷が分離する現象(プラズモン誘起電荷分離)を見出した。その発見の経緯、機構解明の経過について説明する。また、可視・赤外光の光電変換、光触媒、化学センサ、フォトクロミズム、光スイッチング、光ナノ加工(円偏光によるキラル構造作製など)への応用についても紹介したい。

(注)この講演は大学院集中講義の一部です。

連絡先：九州大学大学院理学研究院化学部門

(世話人) (092)802-6230 玉田 薫 (先導研)

(事務局) 化学部門等事務室：TEL (092)802-4125